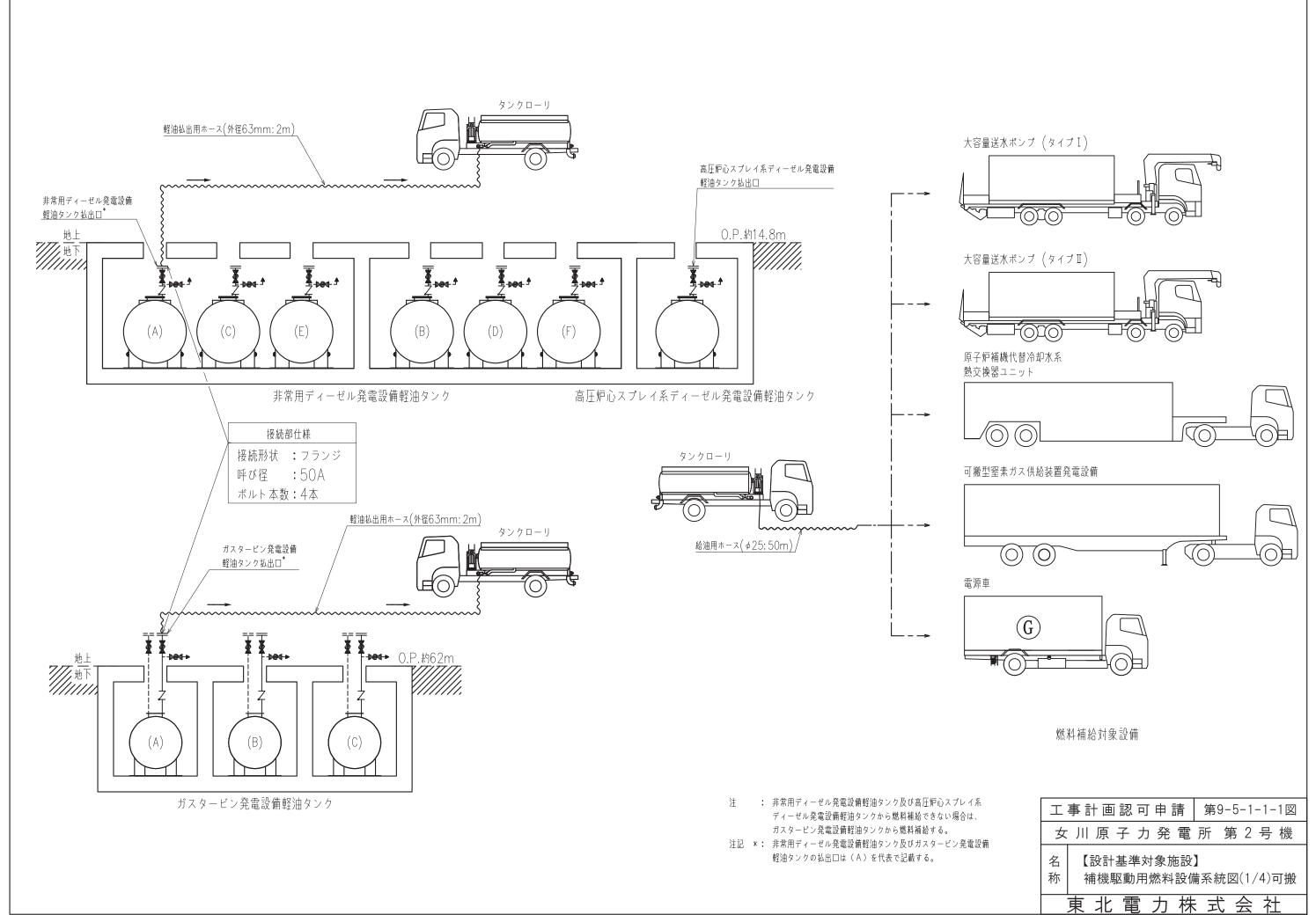
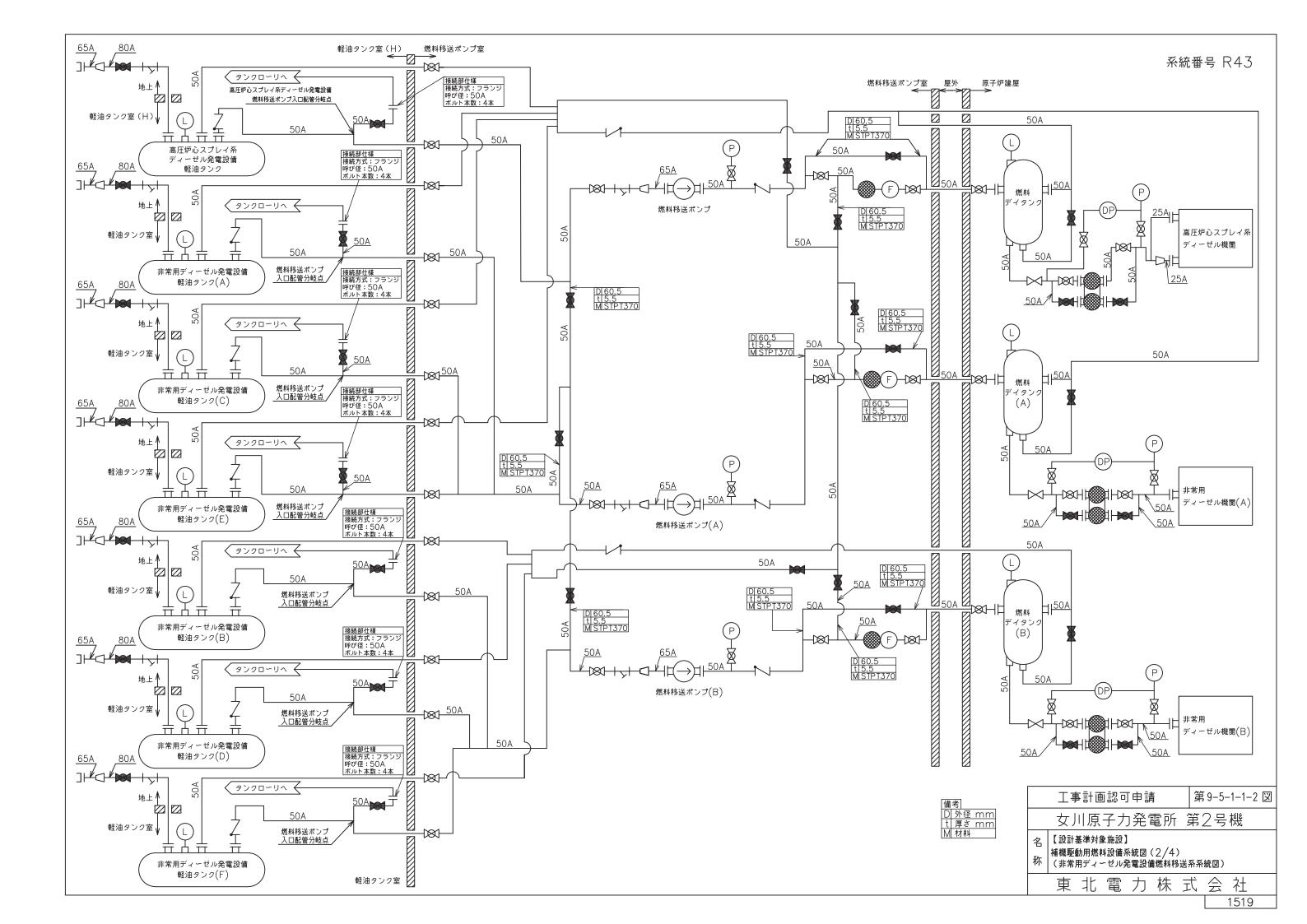
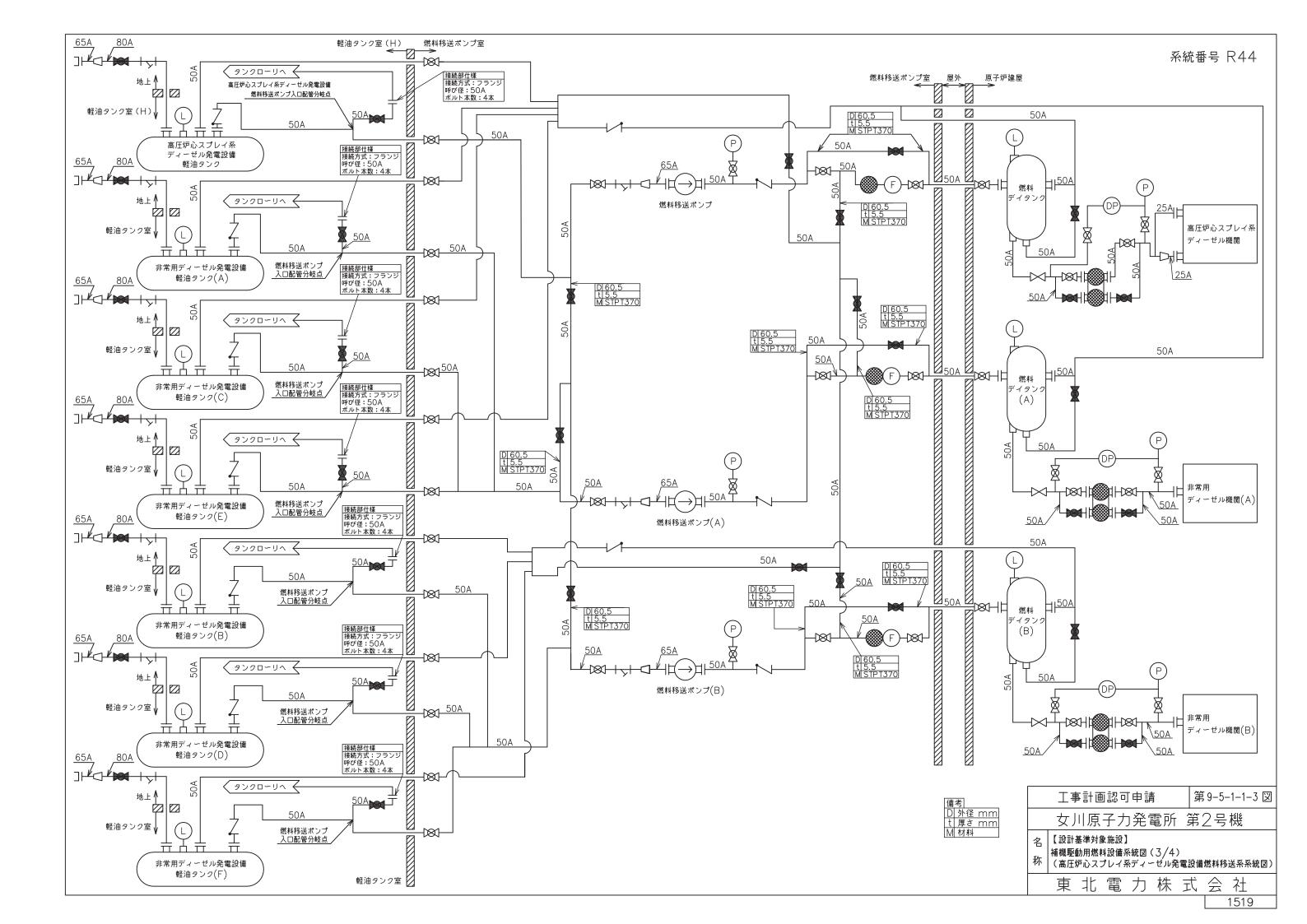
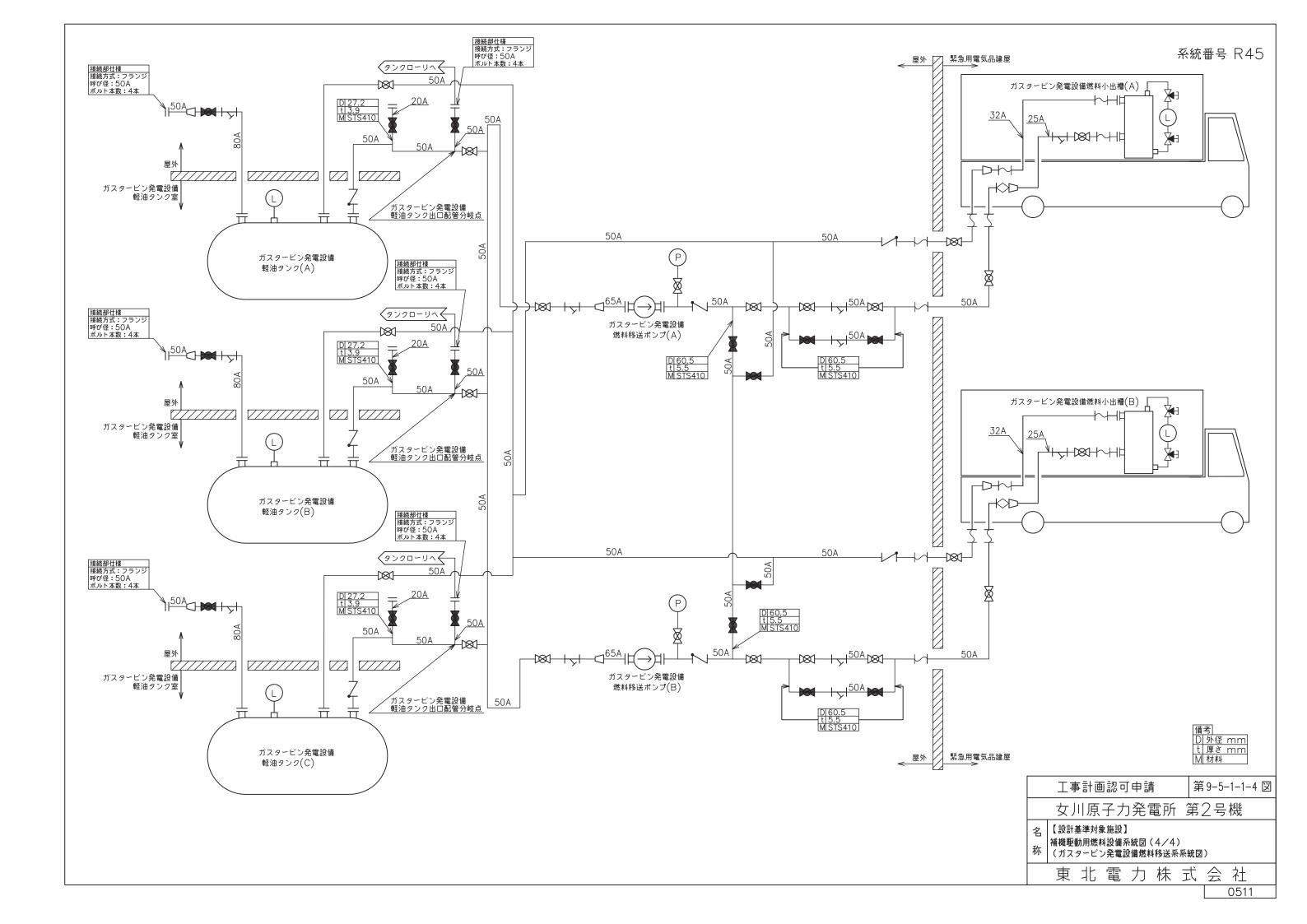
# 9.5 補機駆動用燃料設備

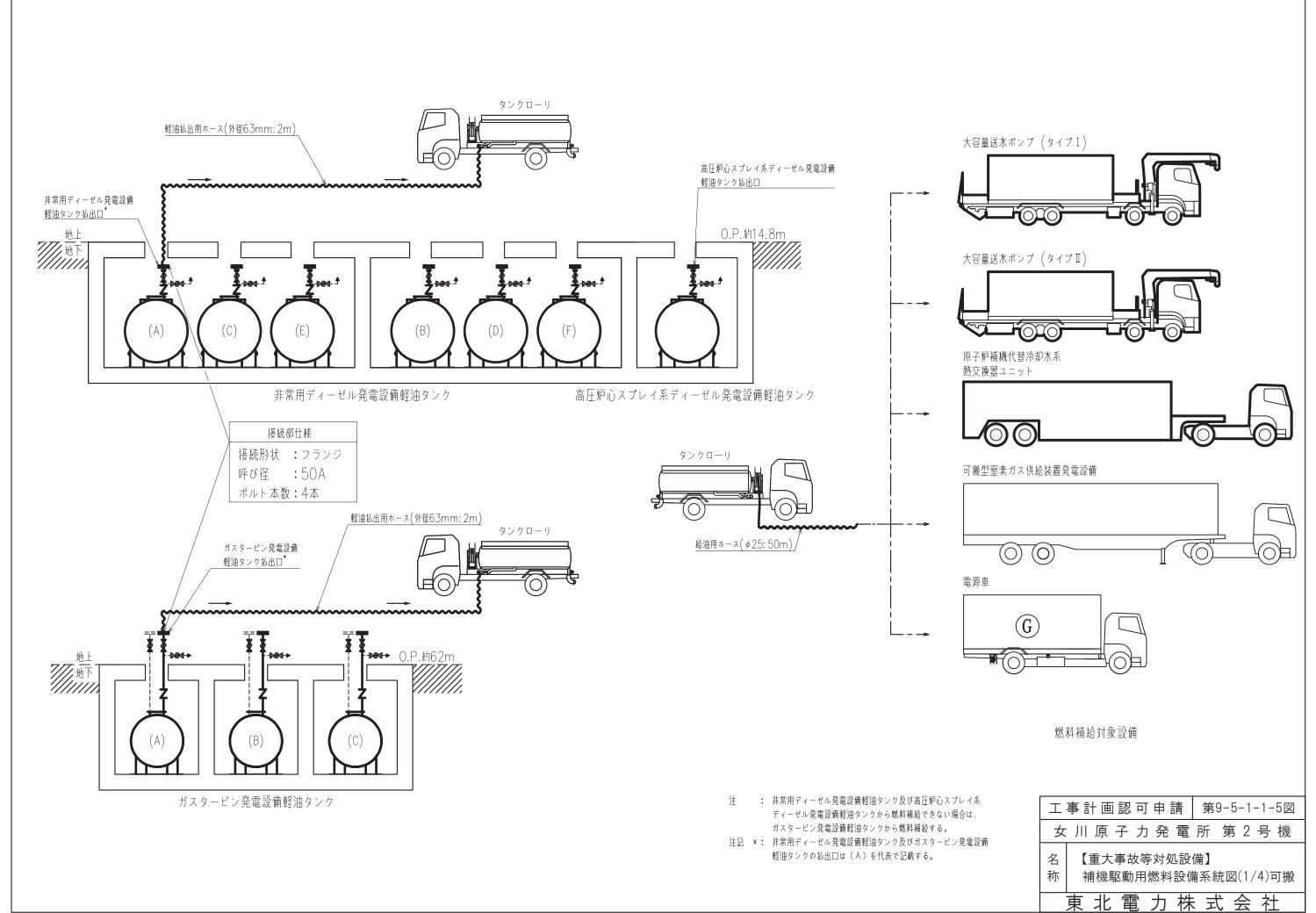
# 9.5.1 燃料設備

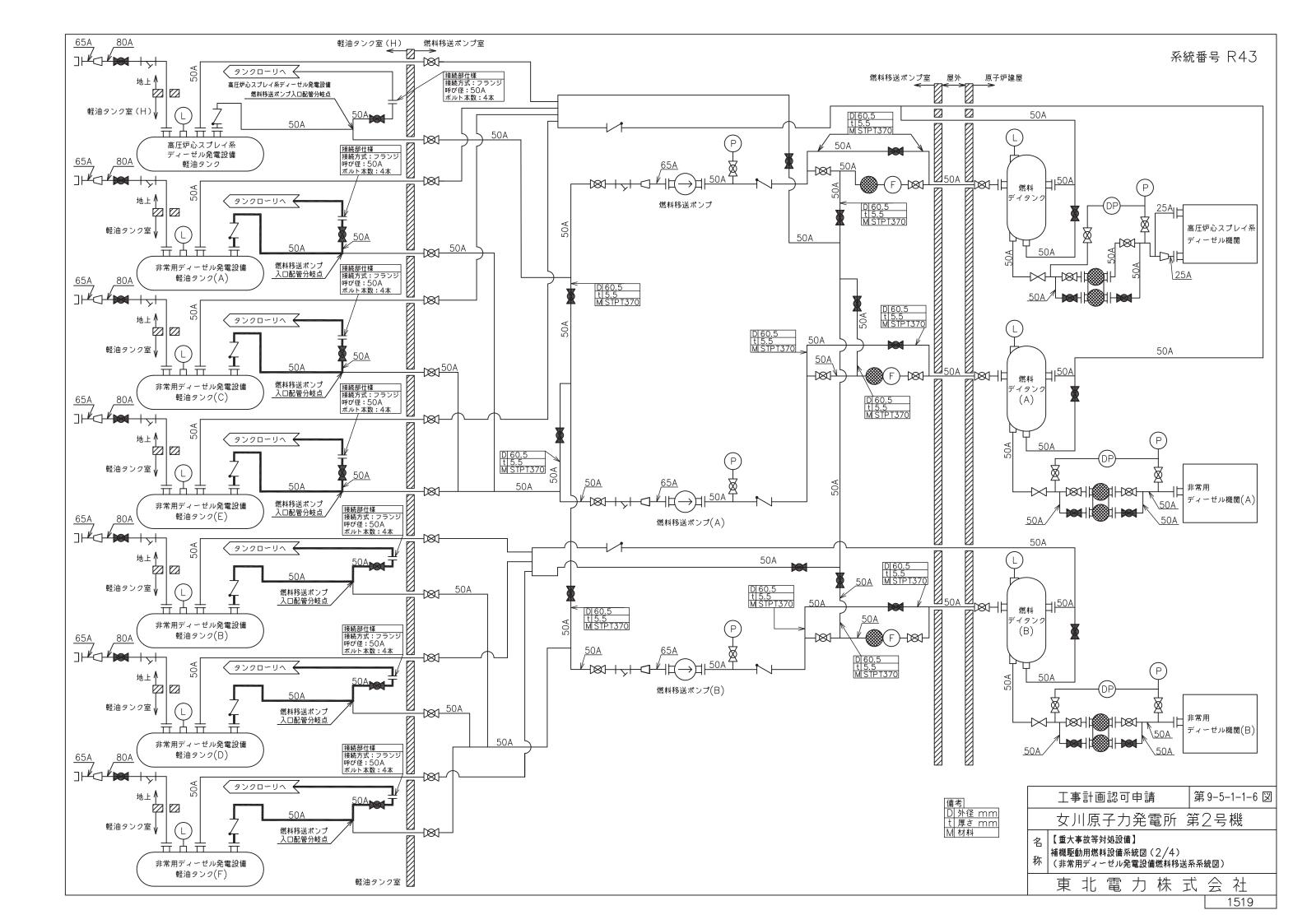


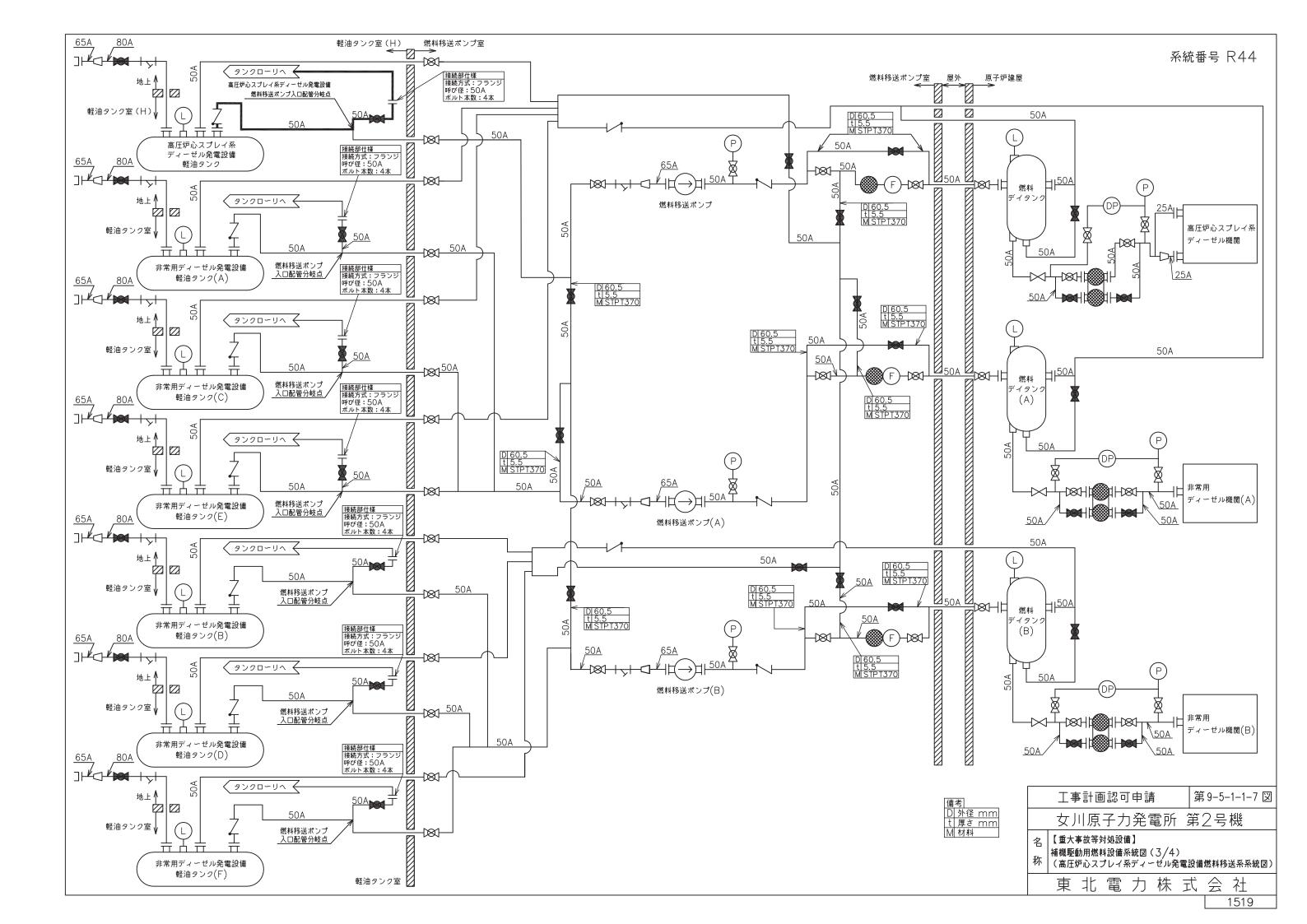


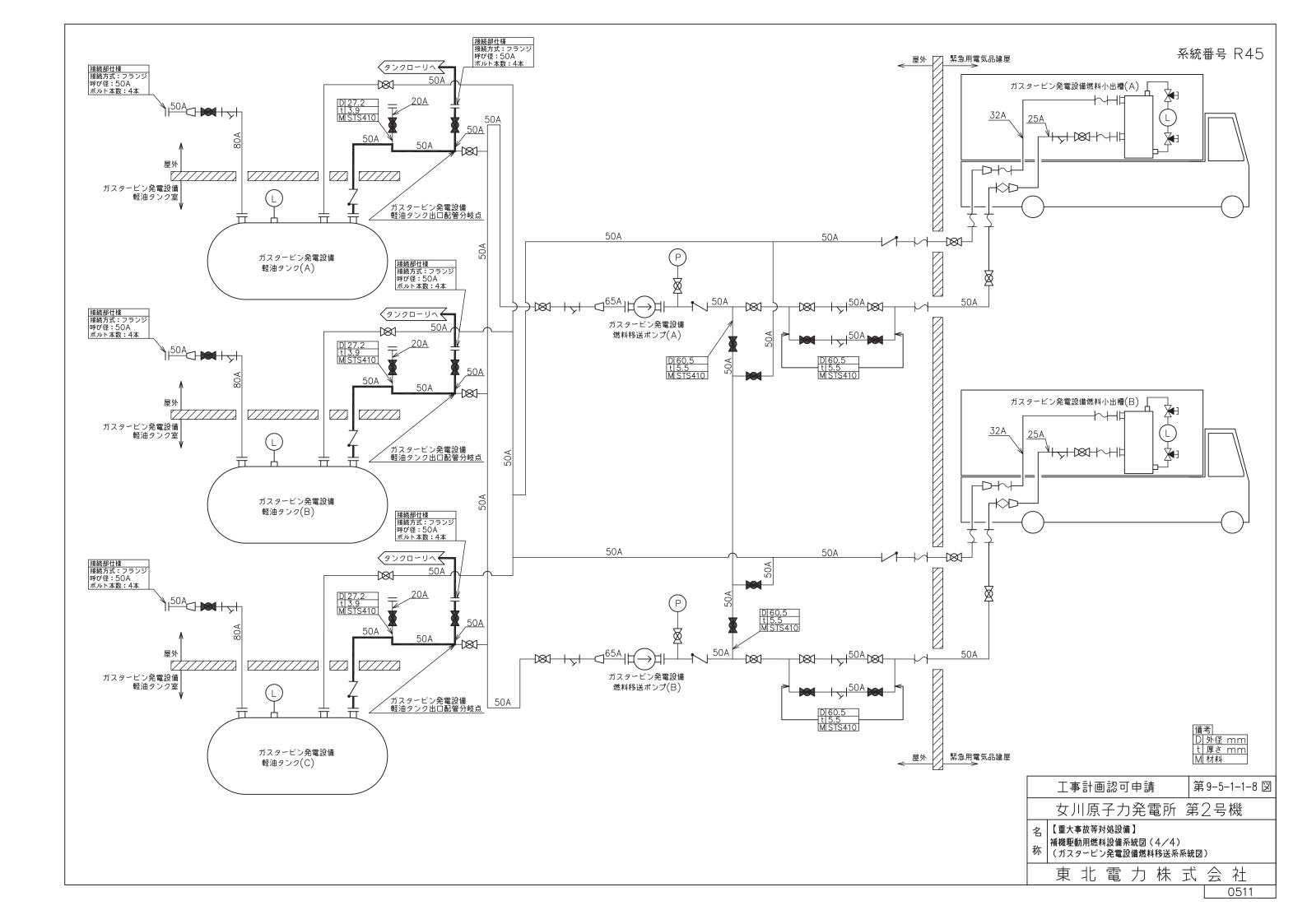












工事計画認可申請 第9-5-1-2-1図 女川原子力発電所 第2号機

名 大容量送水ポンプ(タイプ I ) 称 (燃料タンク)構造図

東北電力株式会社 株囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 0220

#### 第 9-5-1-2-1 図 大容量送水ポンプ(タイプ I)(燃料タンク)構造図別紙

#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

#### 「大容量送水ポンプ(タイプ I)(燃料タンク)]

[八有重之(ハベン / (ノーノー) (MATT) / ソノ)]						
主	要 (mm	寸 法	許容範囲	根拠		
た	7	1480		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準		
	横	540		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準		
高	0.t	640		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準		

工事計画認可申請 第9-5-1-2-2図

女川原子力発電所 第2号機

東北電力株式会社 株田みの内容は商業機密の観点から公開できません。 0220

#### 第 9-5-1-2-2 図 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)(燃料タンク)構造図別紙

#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

#### 「大容量送水ポンプ(タイプⅡ)(燃料タンク)〕

主	要 (mm	寸 法	許容範囲	根拠	
た	7	1480		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準	
	横	540		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準	
高	0.t	640		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準	

工 事 計 画 認 可 申 請 第9-5-1-2-3図

女川原子力発電所 第2号機

名 原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット 称 (燃料タンク)構造図

東北電力株式会社 株開みの内容は商業機密の観点から公開できません。 0220

#### 第9-5-1-2-3図 原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(燃料タンク)構造図別紙

#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

[原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(燃料タンク)]

L// 1 - 4 //		174 91101119	- 4-7-7 C H H		())(()   ()   ()   ()   ()   ()   ()	
主	要 (mm)	) - <del>/</del>	法	許	容範囲	根拠
た	τ					製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準
	横					製造能力,製造実績を考慮した メーカ基準
高	さ					製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準

工事計画認可申請 第9-5-1-2-4図 女川原子力発電所 第2号機

名 タンクローリ構造図

東 北 電 力 株 式 会 社 棒囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 1625

#### 第 9-5-1-2-4 図 タンクローリ構造図別紙

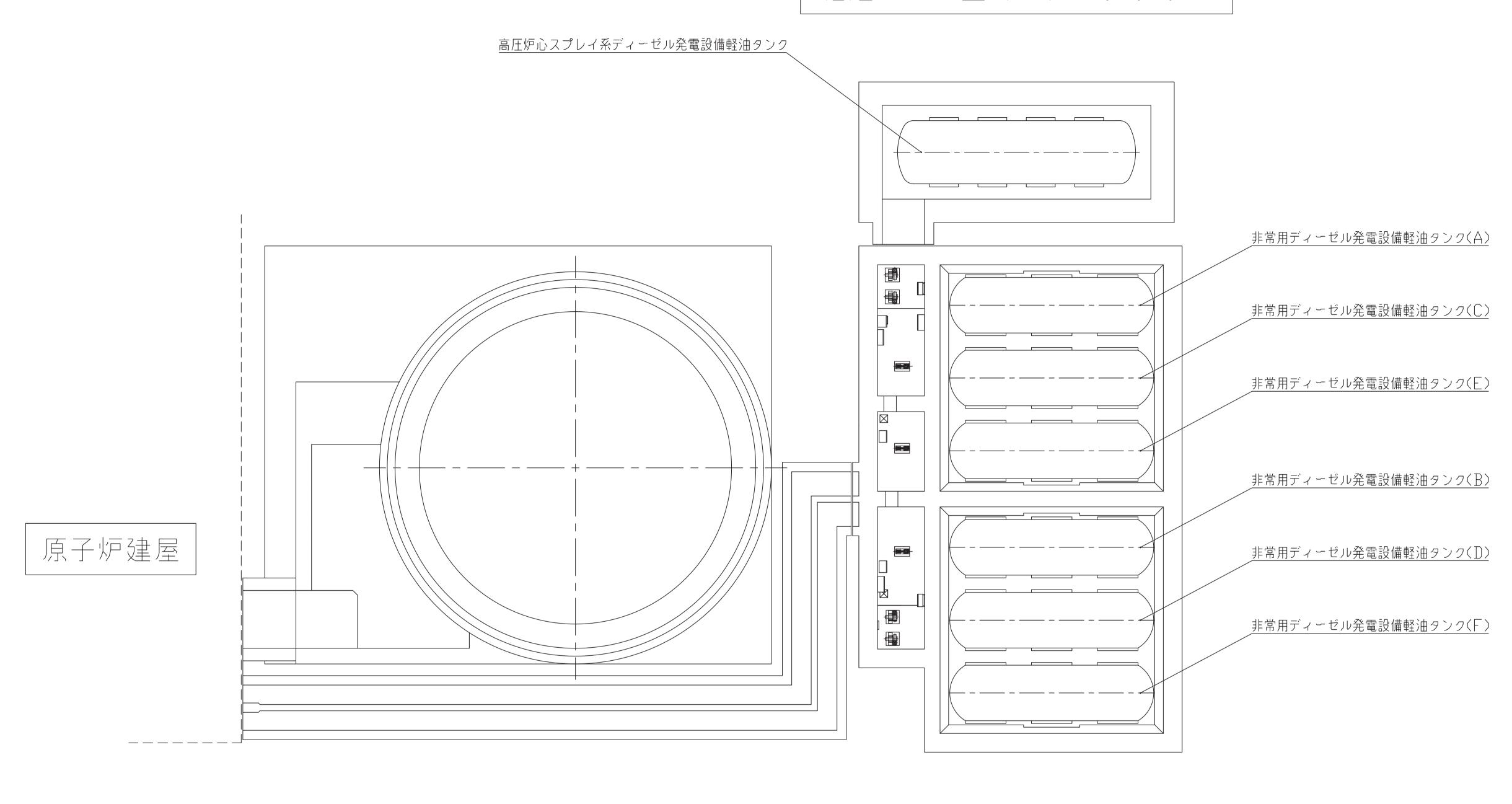
#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

## [タンクローリ]

主要	寸 法	許容範囲	根拠
胴 長 往	1800		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
胴 短 往	930		同上
胴板厚さ (上板)	3. 2	+規定しない 0 mm	消防法で規定された最小板厚
胴板厚さ	3. 2	+規定しない -0.4mm	同上
鏡板厚さ	3. 2	+規定しない -0.4mm	同上
鏡板の形状に係る寸法	(鏡板短径の		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準同上
排出口管台外径			同上
排出口管台厚さ	3. 2	+規定しない -0.4mm	消防法で規定された最小板厚
マンホール 管 台 外 名	406. 4		製造能力、製造実績を考慮した メーカ基準
マンホール 管 台 厚 さ	3. 2	+規定しない -0.4mm	消防法で規定された最小板厚
マンホールふた 厚 さ	3. 2	+規定しない -0.4mm	同上
全長	3350		製造能力、製造実績を考慮したメーカ基準
車 両 全 長	5920	_	概略寸法のため規定しない
車 両 全 幅	2200	_	同上
車両高さ	2420	_	同上



# 軽油タンク室(H) 0.P.6.40



復水貯蔵タンク 0。P。9。50

軽油タンク室 0。P。9。50

注:寸法はmを示す。

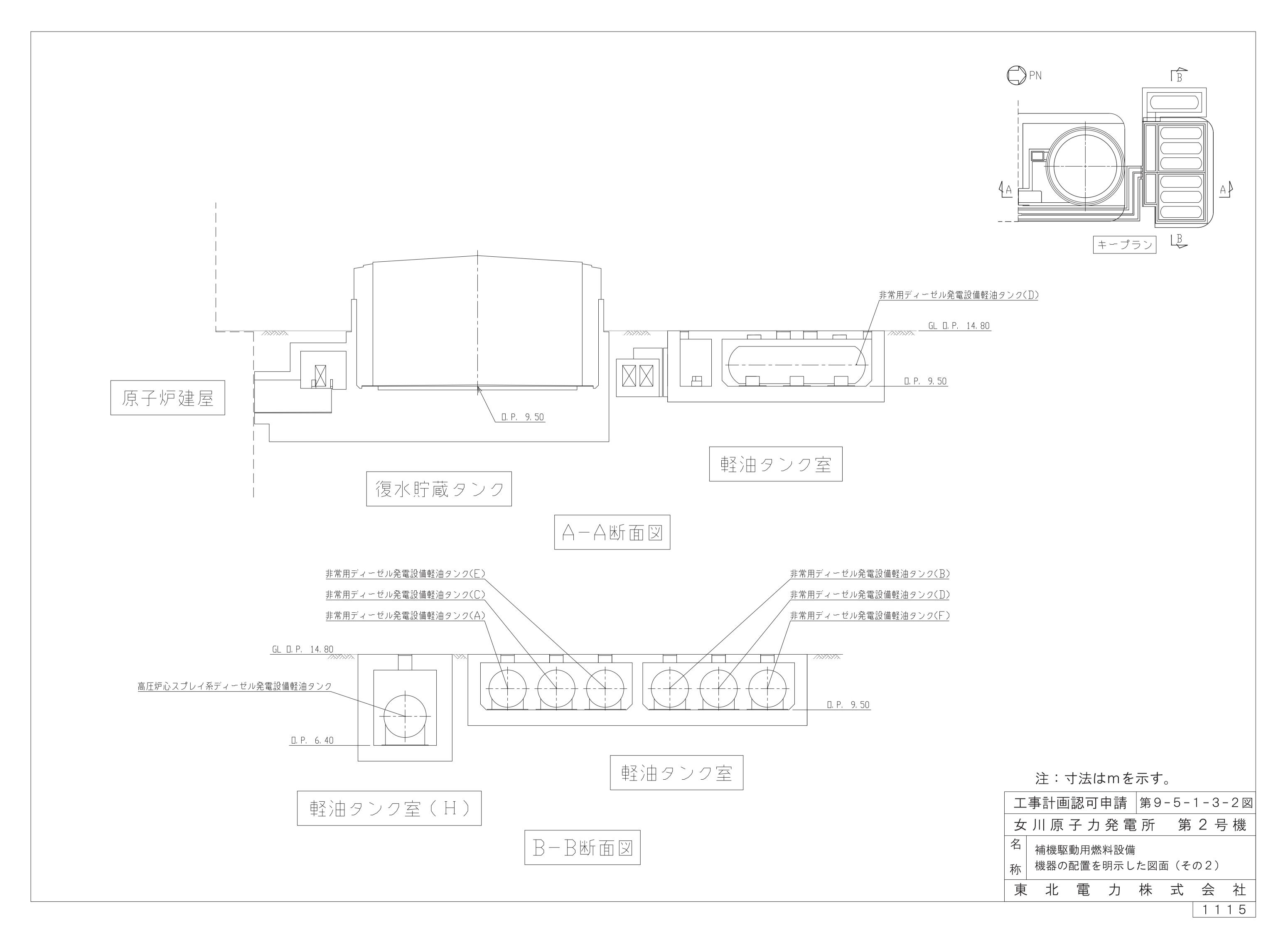
 工事計画認可申請
 第9-5-1-3-1図

 女川原子力発電所
 第2号機

補機駆動用燃料設備

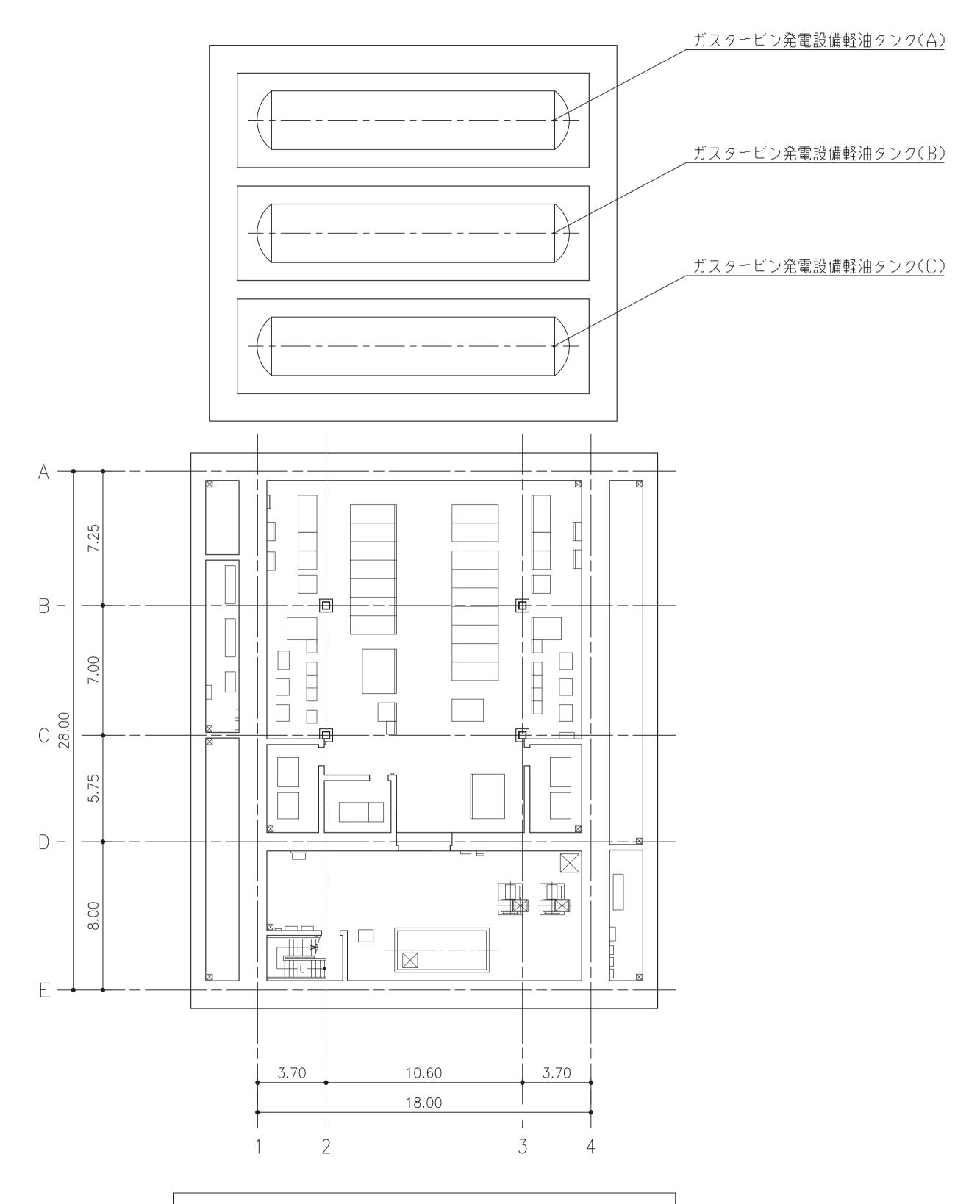
機器の配置を明示した図面(その1)

東北電力株式会社



# ガスタービン発電設備軽油タンク室 O.P.56.70





緊急用電気品建屋 O.P.56.40

注:寸法はmを示す。

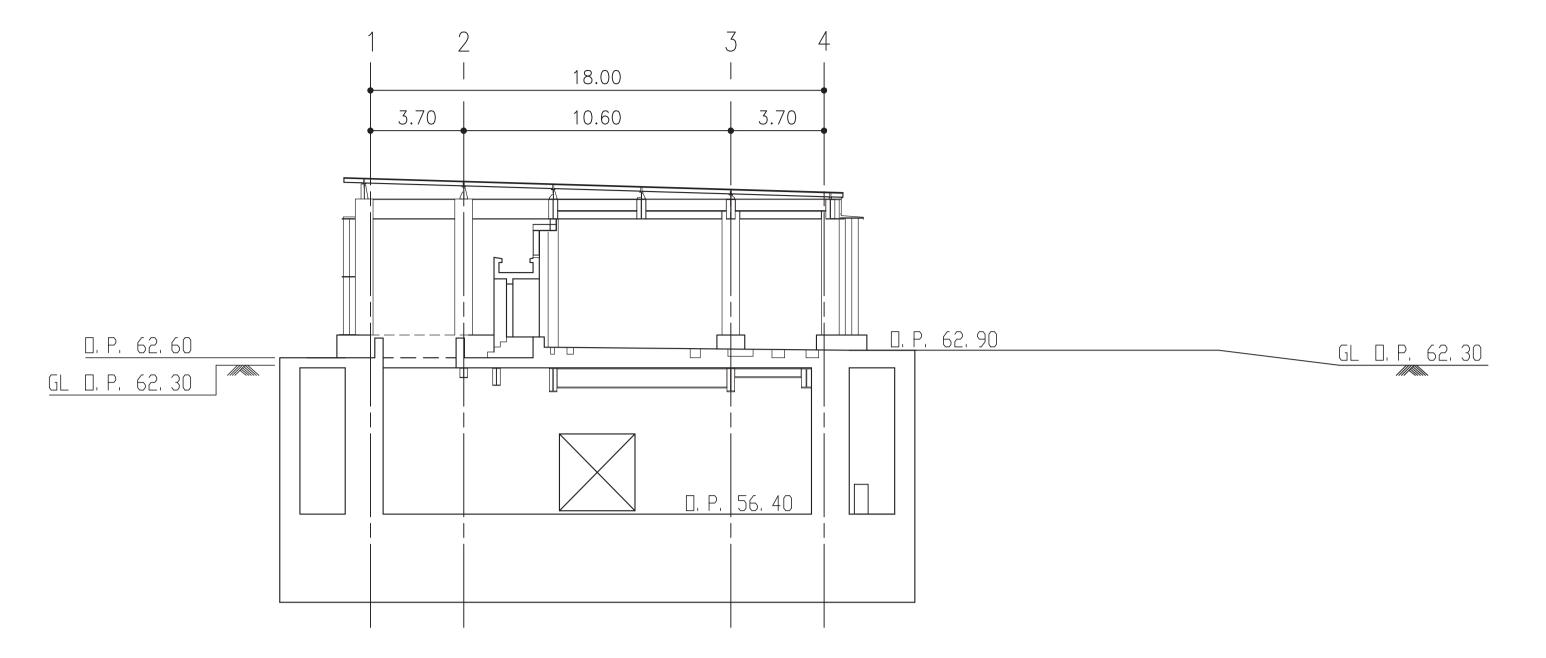
 工事計画認可申請
 第9-5-1-3-3図

 女川原子力発電所
 第2号機

名|補機駆動用燃料設備

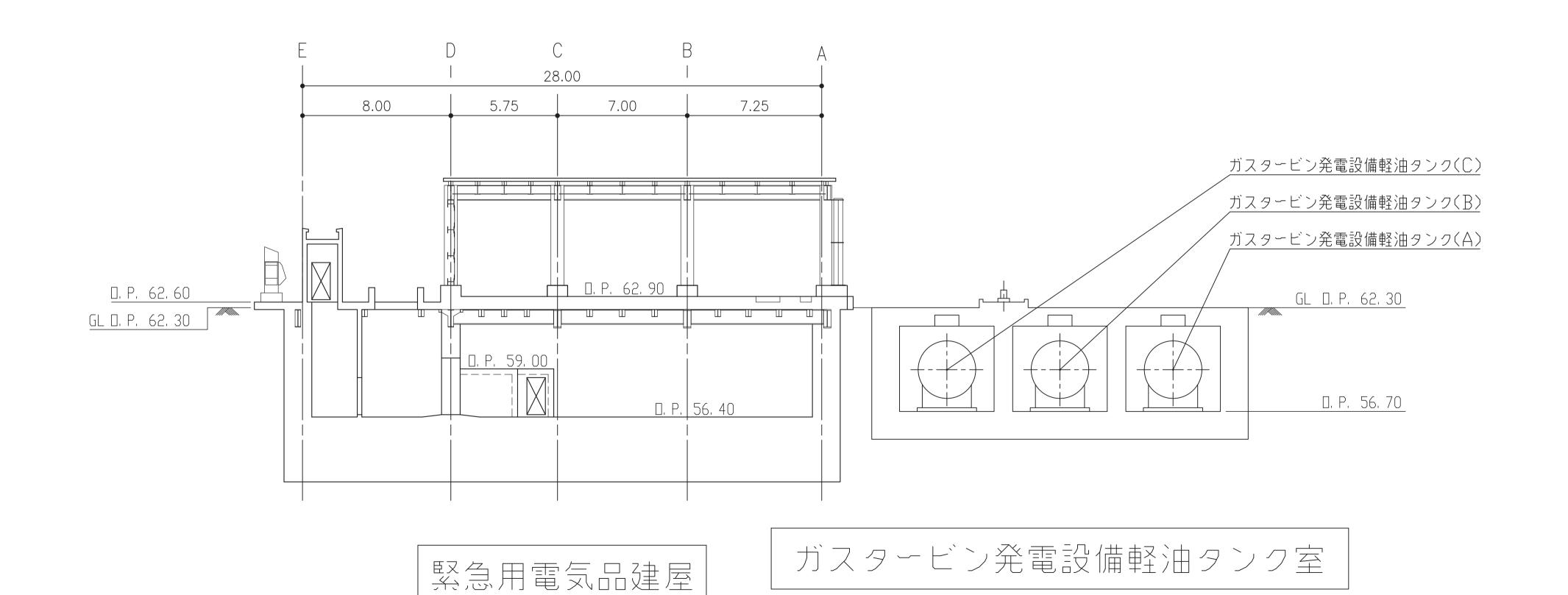
新 機器の配置を明示した図面(その3)

東 北 電 力 株 式 会 참

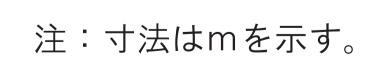


緊急用電気品建屋

A-A斯面図



B一B断面図



 工事計画認可申請
 第9-5-1-3-4図

 女川原子力発電所
 第2号機

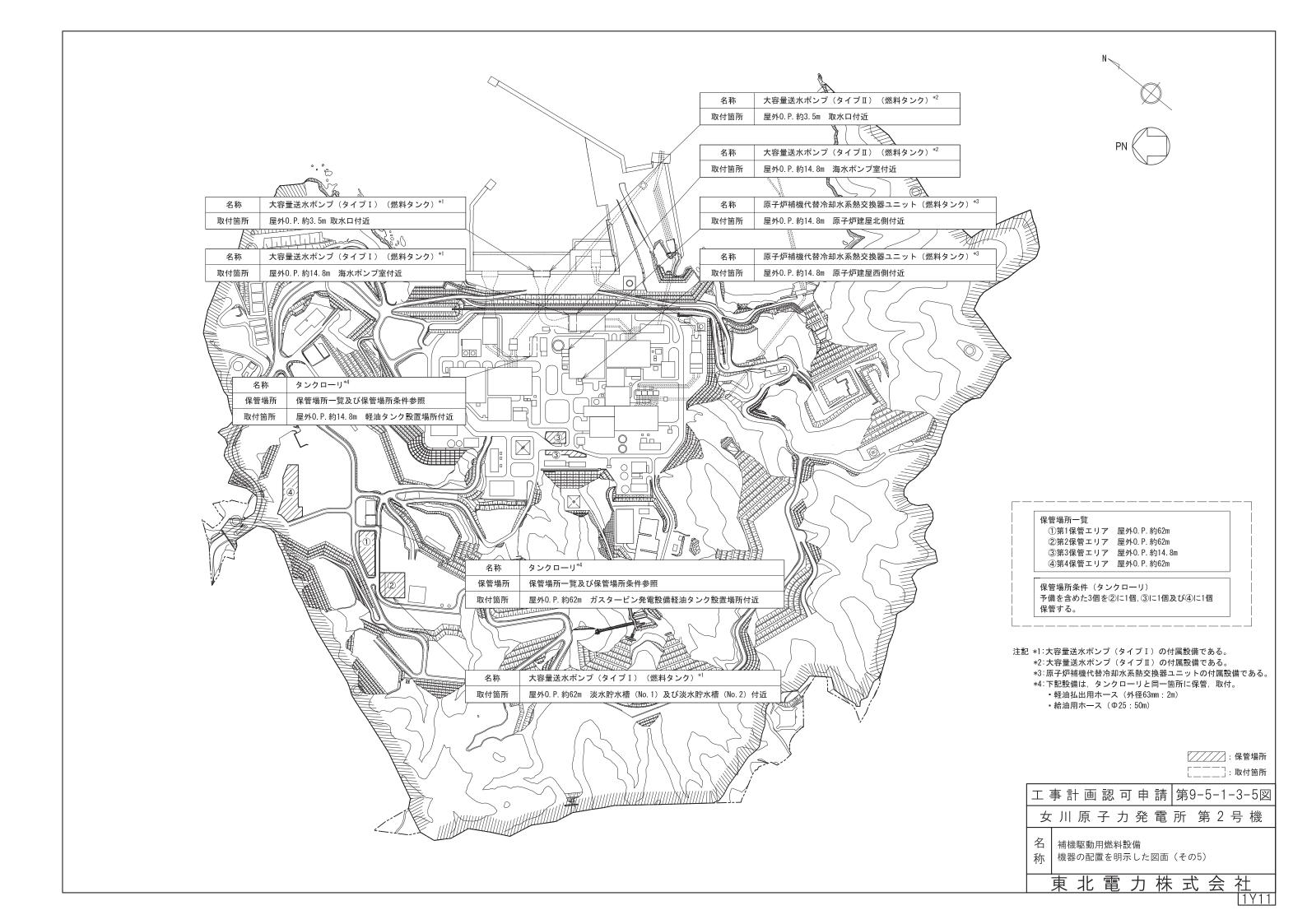
l \_\_\_\_\_\_

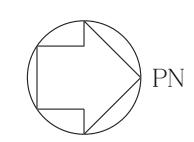
キープラン

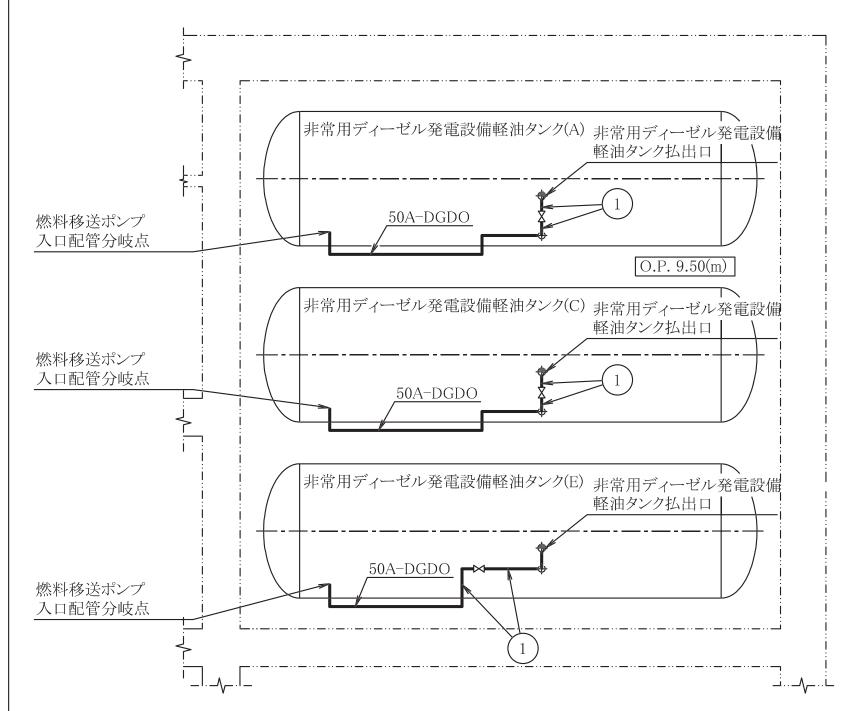
補機駆動用燃料設備

☆ 機器の配置を明示した図面(その4)

東北電力株式会社



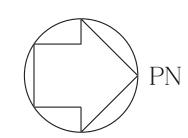


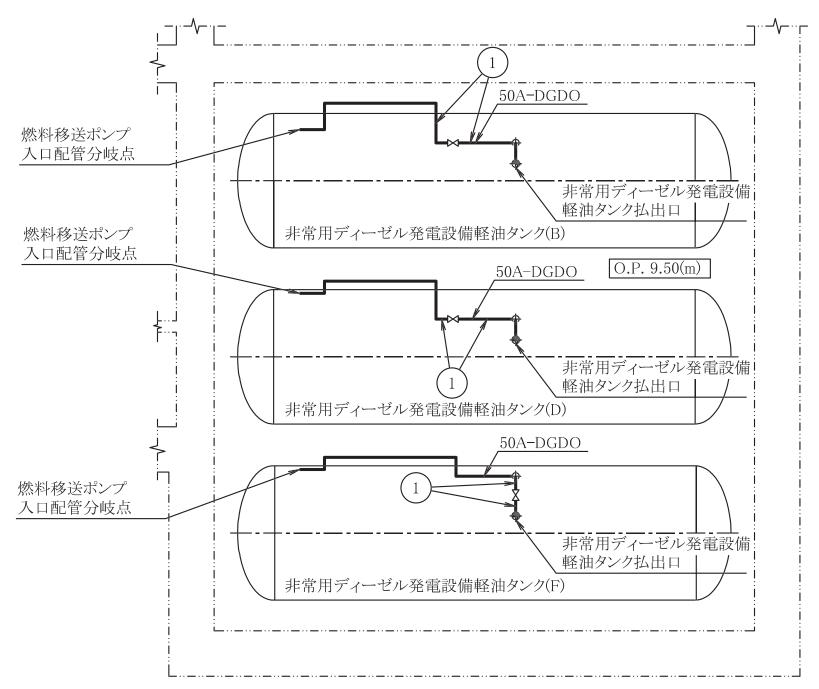


注1:燃料移送ポンプ入口配管分岐点~非常用ディーゼル発電設備軽油タンク 払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備, 可搬型代替交流電源設備,可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給 装置発電設備)と兼用。

注2:寸法はmを示す。

工事計画認可申請第9-5-1-4-1図女川原子力発電所第2号機名補機駆動用燃料設備称主配管の配置を明示した図面(その1)東北電DGDO1524

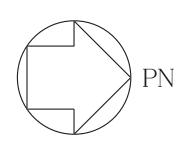


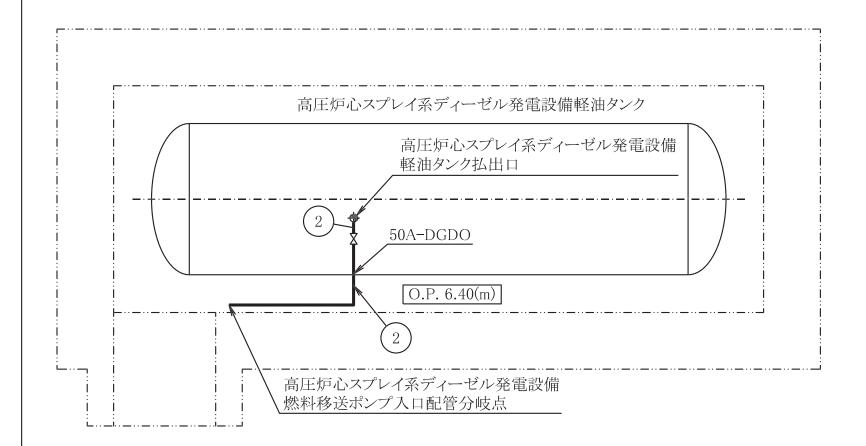


注1:燃料移送ポンプ入口配管分岐点~非常用ディーゼル発電設備軽油タンク 払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備, 可搬型代替交流電源設備,可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給 装置発電設備)と兼用。

注2:寸法はmを示す。

工事計画認可申請第9-5-1-4-2図女川原子力発電所第2号機名補機駆動用燃料設備称主配管の配置を明示した図面(その2)東北電DGDO1524



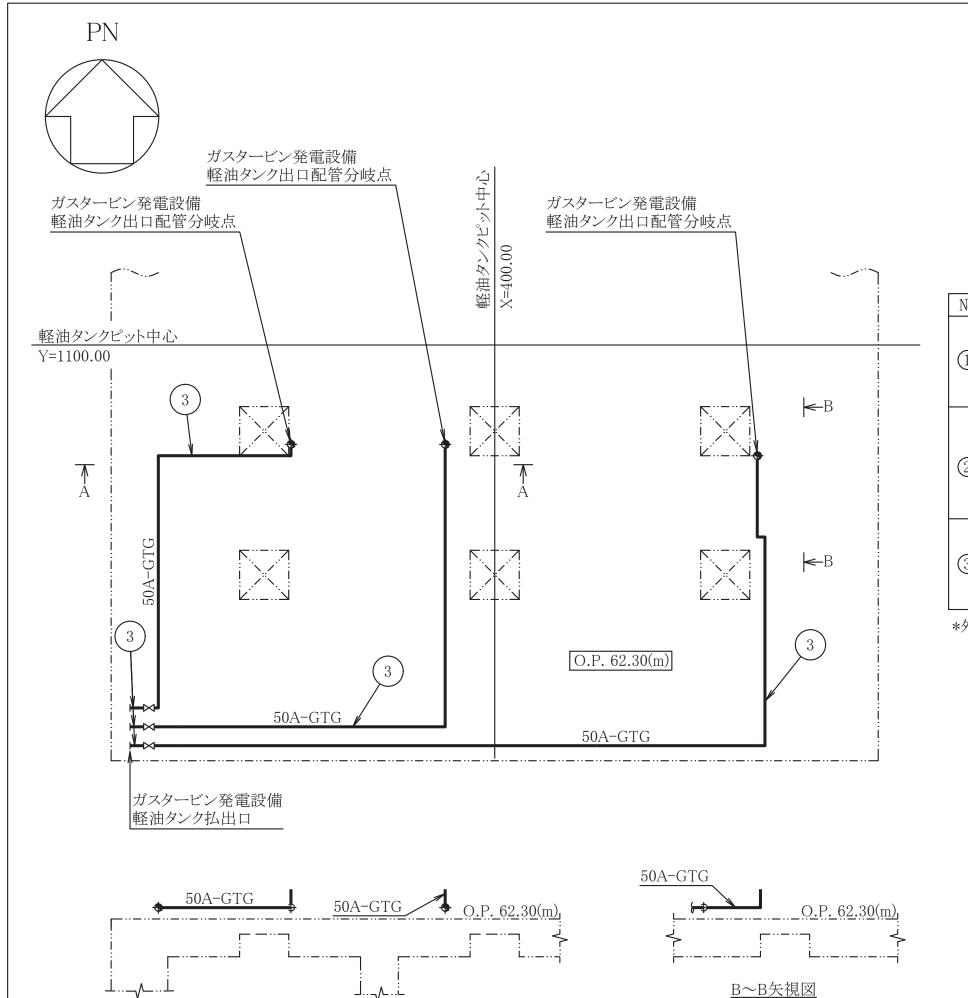


注1: 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点~ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口は非常用電源設備の 非常用発電装置(ガスタービン発電設備,可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給装置発電設備)と兼用。 注2: 寸法はmを示す。

工事計画認可申請第9-5-1-4-3図女川原子力発電所第2号機名補機駆動用燃料設備称主配管の配置を明示した図面(その3)

東 北 電 力 株 式 会 社

DGDO 1527



A~A矢視図

No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
1	燃料移送ポンプ入口配管 分岐点 ~ 非常用ディーゼル発電 設備軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STPT410
2	高圧炉心スプレイ系ディーゼル 発電設備燃料移送ポンプ入口 配管分岐点 ~ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル 発電設備軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STPT410
3	ガスタービン発電設備 軽油タンク出口配管分岐点 〜 ガスタービン発電設備 軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STS410

\*外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

注1:ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点〜ガスタービン発電設備軽油 タンク払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給装置発電設備)と兼用。 注2:寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-5-1-4-4図									
女川原子力発電所 第2号機									
名		補機駆動用燃料設備							
称	主i	主配管の配置を明示した図面(その4)							
	東	北	電	カ	株	式	슻	社	
(	GTG								0507

#### 第 9-5-1-4-1~4 図 補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その 1~4)別紙

#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

#### [主配管]

## 管NO. 1,2\*

主	要 ( <sub>1</sub>	寸 法 mm)	許容範囲	根拠
外	径	60.5	±1%	JIS G 3456による材料公差
厚	さ	5. 5	$\pm 12.5\%$	同上

#### 管NO.3\*

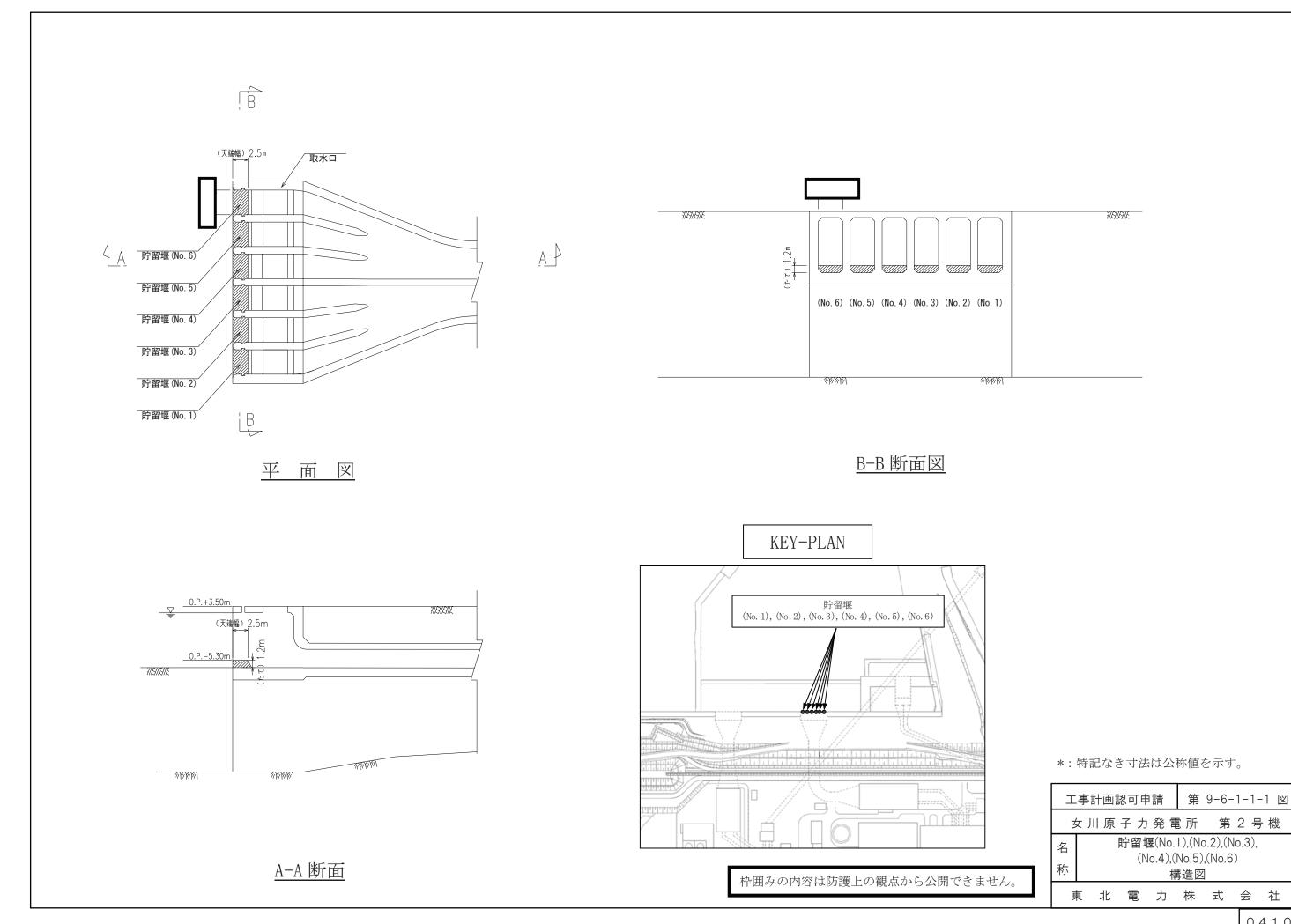
主 要	寸 法 mm)	許容範囲	根拠
外 径	60. 5	±1%	JIS G 3455による材料公差
厚さ	5. 5	$\pm 12.5\%$	同上

注:主要寸法は,工事計画記載の公称値。

注記\*:主配管の配置を明示した図面の管NO.を示す。

# 9.6 非常用取水設備

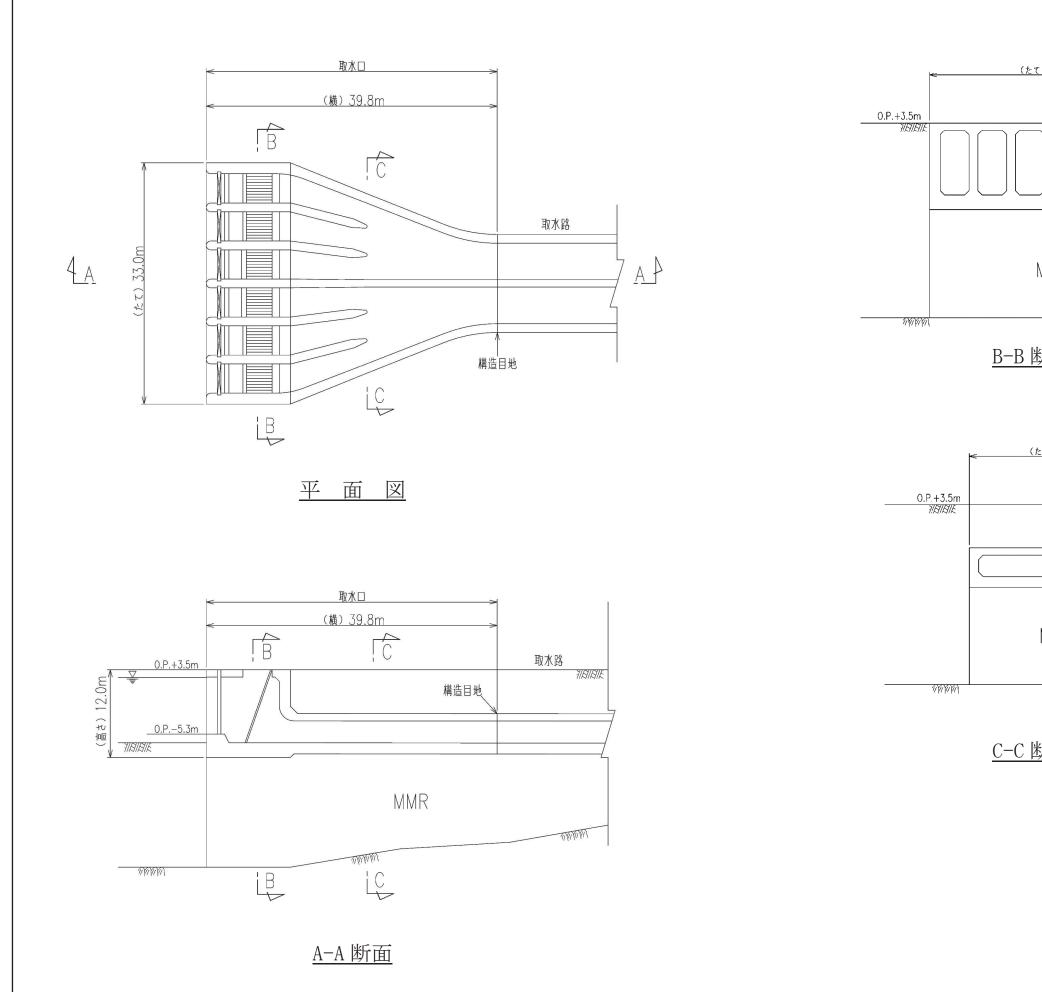
# 9.6.1 取水設備



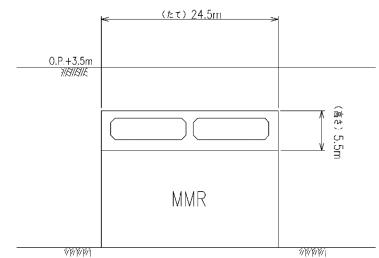
第9-6-1-1-1 図 貯留堰(No. 1), (No. 2), (No. 3), (No. 4), (No. 5), (No. 6) 構造図 別紙

#### 工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法	:	許容範囲	根拠
天端高さ	0. P5. 3m	±30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
天端幅	2.5m	$\begin{array}{ccc} L < 20m & -50mm \\ L \ge 20m & -100mm \end{array}$	同上
たて	1.2m	$\pm30$ mm	同上
横		—30mm	同上



B-B 断面図



C-C 断面図

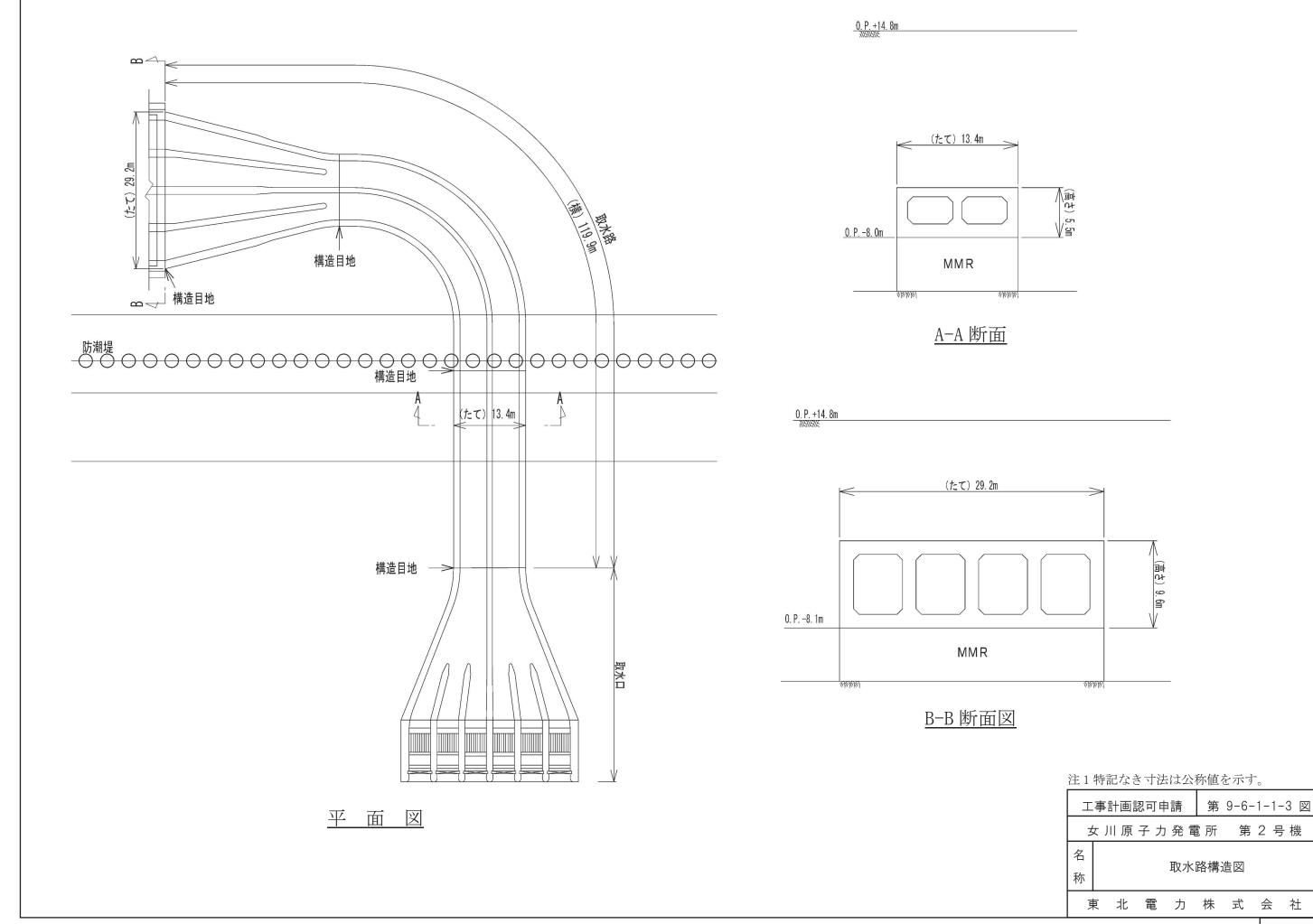
注1特記なき寸法は公称値を示す。

エ	事	計画記	忍可申	請	第	9-6-	-1-1-	-2 図
3	女 川 原 子 力 発 電 所 第 2 号 機							
名称	取水口構造図							
耳	ŧ	北	電	力	株	式	会	社

## 第 9-6-1-1-2 図 取水口構造図 別紙

## 工事計画記載の公称値の許容範囲

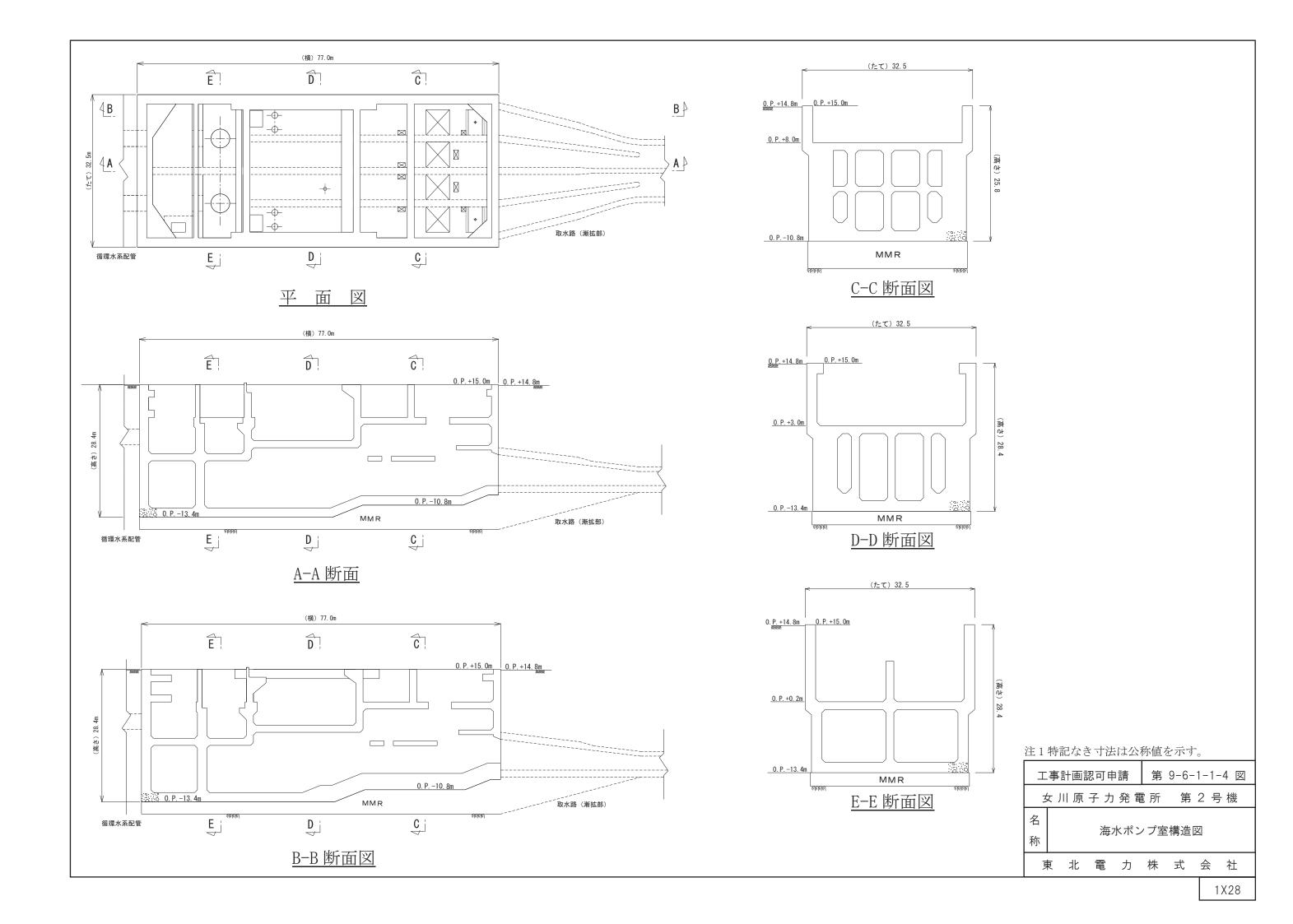
主要寸法 (m)		許容範囲	根 拠
たて	33. 0	$\pm 30$ mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	39.8	+規定しない -100mm	同上
高さ	12. 0	±30mm	同上



## 第 9-6-1-1-3 図 取水路構造図 別紙

## 工事計画記載の公称値の許容範囲

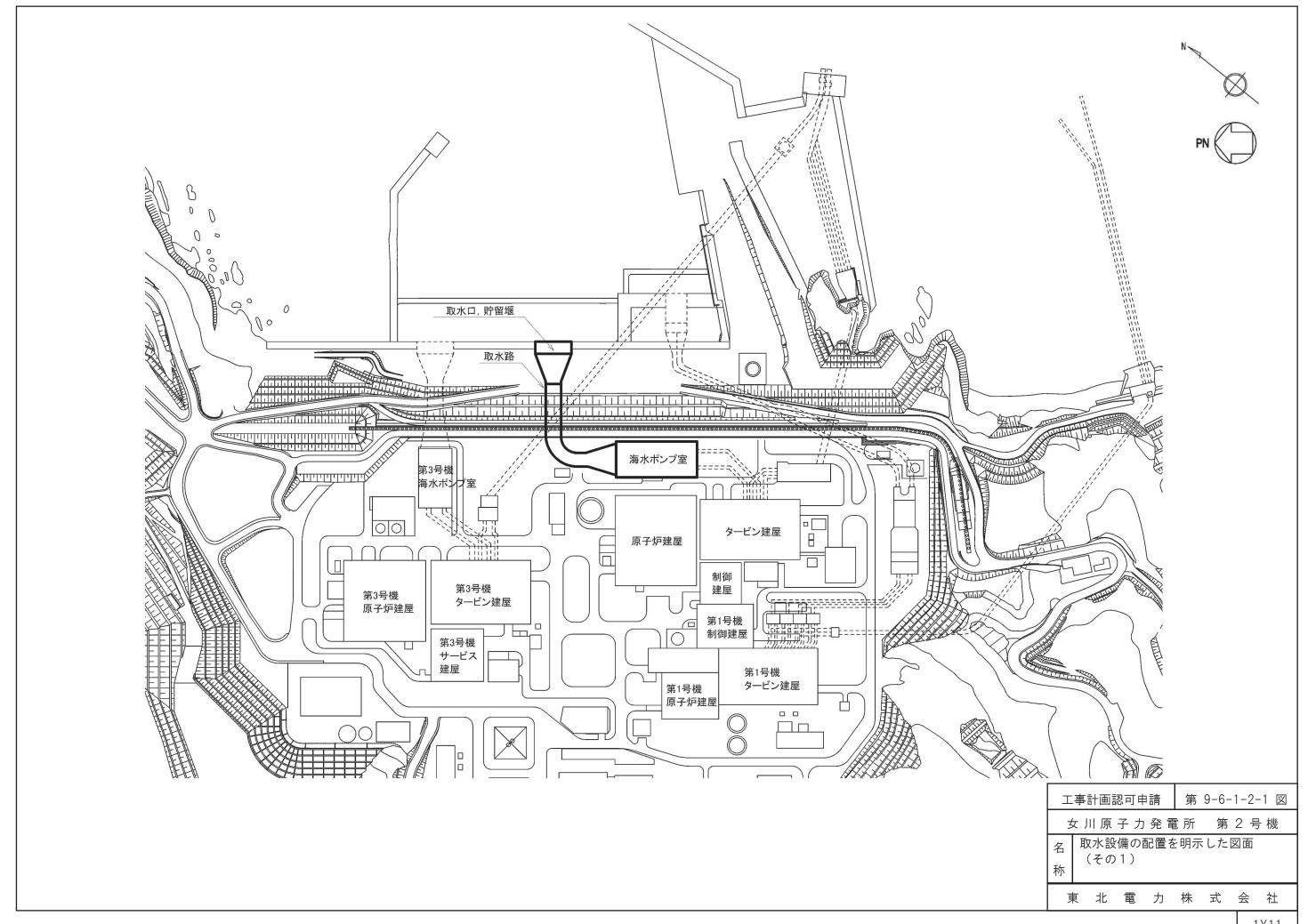
主要寸法 (m)		許容範囲	根 拠
たて	13. 4	$\pm 30$ mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	119. 9	+規定しない -100mm	同上
高さ	5. 5	±30mm	同上



## 第 9-6-1-1-4 図 海水ポンプ室構造図 別紙

## 工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (m)		許容範囲	根 拠
たて	32. 5	+規定しない -30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	77. 0	+規定しない -50mm	同上
高さ	28. 4	$\pm30$ mm	同上



# 9.7 緊急時対策所

